

多職種連携研修会 R4.9.26(月) グループワーク記録用紙

1. 職場の中でコロナで困ったこと（介護の状況、スタッフの状況等…）

- ・利用帰宅後にコロナ陽性が判明したり、利用時に発熱があり受信の結果コロナ陽性が判明したりと利用時の無症状の対応ケース
- ・訪問後にコロナ陽性報告があり2日前に遡ると接触が判明したケース
- ・職員の家族がコロナ陽性判明し、職員も濃厚接触者で自宅待機となることで、現場は職員数が少なく業務遂行が困難な場面や職員欠勤のフォローに入ることで公休取得が難しく労働基準法違反寸前まで至ったことがあり職員も疲弊したりと大変であった。
- ・週末に担当 CMと連絡が取れない事業所があり対応に困った。
- ・歯科医はコロナ感染のリスクが高いと報道があっていたが、患者は感染を予防するため受診を控えたり、施設の訪問診療に関しても施設出入りに制限があることで診療することが出来ずアプローチが出来にくく、口腔内の悪化が見られ負のサイクルが見られた。また学校でも感染予防の為に一斉に歯磨きをせず、時間をずらして実施することなどで子供の口腔内に関しても悪化が見られた。

2. こういう備えをしておけば良かったと思ったこと、足りなかったもの

- ・併設事業所に陽性者が判明したことで食事食器を使い捨てで対応する備品不足があった。
また、併設事業所と食事面で連携が図りにくく、食器等の変更によることで名前が見えにくいなど課題を感じた。
- ・陽性者が判明した場合の関係事業所との横の連携について必要性を感じた。

3. 今、私たちができること、すべきこと

- ・陽性者、濃厚接触者と判明した際の初動動作のチェックリストの作成
- ・感染が判明した際のサービス提供の切り替え、調整、備品の確認・確保を、事前に想定して準備を行っておく。